

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	人権推進運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0125002000 - 001	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>			
	<b>款</b>	民生費	<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部人権推進課		
	<b>項</b>	社会福祉費	<b>連絡先</b>	(078)918-5024		
	<b>目</b>	人権推進費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 14 年度
	<b>事業</b>	人権推進運営事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律		
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野 4-4 人権の尊重・共生社会の推進	<b>実施方法</b>	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>	
<b>個別計画</b>	人権施策推進方針		委託 <input type="checkbox"/>	指定管理 <input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	すべての市民の人権が尊重されるよう、人権意識の向上を図り、人権感覚あふれる共生社会の実現をめざしていく。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	人権施策推進方針に基づく施策の推進	庁内関係課と連携を図り、推進方針に基づき人権施策の総合的かつ効果的な推進を図る。また、推進状況の中間検証のための市民意識調査を行う。	庁内連絡会議 1回開催	庁内連絡会議 1回開催	庁内連絡会議 2~3回開催
	人権擁護委員による相談事業	市民の基本的な人権を擁護し、人権救済の一助とするため、人権擁護委員2名による人権相談を行う。	月2回開催 19件	月2回開催 16件	月2回開催 19件
	明石人権擁護委員協議会との連携や支援	明石人権擁護委員協議会が行う啓発活動等を支援する。	人形劇やパネルシアターなどの人権教室の開催	人形劇やパネルシアターなどの人権教室の開催	人形劇やパネルシアターなどの人権教室の開催

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	1,654	9,500	11,154	0	0	394	10,760				
26当初予算	1,534	9,280	10,814	0	0	384	10,430	正規	1.10	パート	0.00
26決算	1,355	9,280	10,635	0	0	384	10,251	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	3,680	9,280	12,960	0	0	318	12,642	任期付	0.10	合計	1.20

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	人権擁護委員(相談業務)等謝礼	138		報償費	人権擁護委員(相談業務)謝礼ほか	657
旅費	出張旅費	134	旅費	出張旅費	201		
需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	614	需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	832		
負担金補助及び交付金	明石人権擁護委員協議会補助等	431	委託料	市民意識調査等業務委託	1,500		
その他	役員費、使用料及び賃借料	38	負担金補助及び交付金	明石人権擁護委員協議会補助等	432		
			その他	役員費、使用料及び賃借料	58		
	<b>合計</b>		1,355		<b>合計</b>		3,680

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125002000-001	事務事業名	人権推進運営事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果						

### 指標で表せない成果

多様化・複雑化する様々な人権課題に対応できるよう、庁内関係各課と連携を図り、様々な人権課題を「ひとごと」ではなく「わがこと」として捉えて行動していく気運が高まっている。  
 人権施策の推進による事業成果は短期間に現われるものではなく、じっくりと時間をかけて現れるものであるため、概ね5年に1度実施する市民アンケートにおいて、市民の人権意識の経年変化をつかみ、施策の推進状況の効果的な点検・評価を行う。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性

### 現状の課題・今後の事業展開方針等

社会情勢の変化等により多様化・複雑化する様々な人権課題に対応できるよう、検証を図りながら、より一層関係機関、庁内関係各課との連携を強化し、人権施策推進方針のもと、「人権感覚あふれる共生社会の実現をめざして」、人権尊重の視点に立って施策を展開していく。

# 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	人権教育・啓発推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0125002000 - 002		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	款	民生費		<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部人権推進課		
	項	社会福祉費			<b>連絡先</b>	(078)918-5024	
	目	人権推進費		<b>自治/法定</b>		自治事務	開始年度
	事業	人権教育・啓発推進事業					
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律			
	4-4 人権の尊重・共生社会の推進			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成
<b>個別計画</b>	人権施策推進方針		委託			指定管理	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>				
	市民 職員・教員				
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>				
地域においてきめ細やかな人権教育・啓発活動を推進することにより、市民等の人権意識を高め、お互いの人権を尊重しあい、人権感覚あふれる共生社会の実現をめざす。					

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	人権講演会講師派遣(助成)事業	市内の各種団体、学校園等が開催する人権研修会等に、講演及び指導助言を目的として講師を派遣する。	派遣等回数 42回	派遣等回数 45回	派遣等回数 45回
	人権セミナーの開催	明石市人権施策推進方針に基づき、人権意識の醸成を図るため、市民等に対して多様な人権課題について学習する機会を提供する。	3講座開催 延べ295人参加	3講座開催 延べ312人参加	2講座開催 延べ300人
	明石市人権教育研究集会の開催	8月の人権文化を進める市民運動強調月間中に、人権尊重を自然に態度や行動として表すことが定着している社会の実現をめざし研究集会の各分科会において日頃の実践を交流する。	8月23日開催 900人参加	8月22日開催 800人参加	8月21日開催 800人
	あかしヒューマンフェスタの開催	12月の人権週間の取り組みの一環として、お互いの人権を尊重しあい、ともに生きる明るいまちづくりを進めるため、講演会及び人権啓発作品の披露・発表等を行う。	11月29日開催 1050人参加	11月28日開催 850人参加	11月27日開催 900人
	企業人権問題研修会の開催	市内の企業や事業所で働く人々の人権意識の高揚を図り、「差別のない明るい職場づくり」とおとして、共に生きる社会の創造をめざし研修会を開催する。	10月31日開催 22社、76人参加	10月28日開催 21社、65人参加	10月開催 21社、70人
	地域等における研修会の開催	地域のきめ細やかな人権教育・啓発活動を推進し、市民の主体的活動で人権文化を築くため、各中学校区に1名の人権教育推進員を配置し、地域等で研修会を開催する。	研修会720回	研修会718回	研修会約750回
	明石市人権教育研究協議会との連携や支援	人権文化あふれる共生社会の実現に向け、明石市人権教育研究協議会が行う研究事業、啓発事業、研修強化事業等を支援する。	人権教育研究集会などの開催	人権教育研究集会などの開催	人権教育研究集会など開催 予定

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	27,239	30,010	57,249	1,482	0	0	55,767	正規	3.10	パート	0.00
26当初予算	28,126	28,020	56,146	1,482	0	0	54,664	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	27,125	28,020	55,145	1,637	0	0	53,508	任期付	1.00	合計	4.10
27当初予算	27,691	28,020	55,711	1,537	0	0	54,174				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	人権教育推進員報酬13人	13,935		報酬	人権教育推進員報酬13人	14,196
報償費	講師謝礼、人権啓発員謝礼56人	3,806	報償費	講師謝礼、人権啓発員謝礼56人	3,898		
需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	2,114	需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	1,977		
委託料	啓発冊子制作委託	510	委託料	啓発冊子制作委託	650		
負担金補助及び交付金	明石市人権教育研究協議会補助等	5,810	負担金補助及び交付金	明石市人権教育研究協議会補助等	5,825		
その他	旅費、役務費、使用料及び賃借料、備品購入費	950	その他	旅費、役務費、使用料及び賃借料	1,145		
<b>合計</b>			27,125	<b>合計</b>			27,691

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125002000-002	事務事業名	人権教育・啓発推進事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
	<b>指標で表せない成果</b>						
<p>学校、幼稚園、保育所、地域、職場などあらゆる場で人権教育、人権啓発活動を推進することで、市民の人権意識が醸成され、人権尊重を自然に態度や行動で表すことが文化として定着している人権尊重のまちづくりが進みつつある。</p> <p>人権施策の推進による事業成果は短期間に現われるものではなく、じっくりと時間をかけて現れるものであるため、概ね5年に1度実施する市民アンケートにおいて、市民の人権意識の経年変化をつかみ、施策の推進状況の効果的な点検・評価を行う。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>人権尊重のまちづくりを進めるため、人権施策推進方針に基づき、あらゆる人権課題を「ひとごと」ではなく「わがこと」として捉えて行動できるよう、関係団体などと連携を一層図りながら、より効果的な人権教育・啓発を進めていく。</p> <p>平成23年に明石市人権施策推進方針を改訂した際に実施した人権に関するアンケートにおいて、「人権は人が暮らしていく上で大切なものである」と考える割合(67.4%)を高めていく。</p> <p>明石市人権教育研究協議会への補助金については、明石市人権教育研究協議会との協議の上、削減する方向で見直す。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	平和啓発推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0125002000 - 003		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	民生費		<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部人権推進課		
	<b>項</b>	社会福祉費		<b>連絡先</b>	(078)918-5024		
	<b>目</b>	人権推進費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 5 年度
	<b>事業</b>	平和啓発推進事業		<b>根拠法令・要綱等</b>			
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
	4-4 人権の尊重・共生社会の推進			委託		指定管理	
<b>個別計画</b>	人権施策推進方針						

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	戦後70年を迎えるにあたり、平和の大切さ、命の大切さを次世代に継承し、市民の平和意識を高め、世界の恒久平和を願う。

活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
		25年度	26年度	27年度
戦後70年平和祈念事業 (あかし平和のつどい)	犠牲者への哀悼の意を表すとともに、平和の大切さを次世代に継承し、世界の恒久平和を願うため、平和祈念式典及び平和映画会を開催する。	-	-	8月11日開催
戦後70年平和祈念事業 (平和啓発冊子及び啓発映画の作成)	明石市が空襲により多くの被害を受けたことを知り、平和の大切さを感じ、平和を守り続ける心と態度を育むため、平和啓発マンガ、啓発資料、啓発映画を作成する。	-	-	マンガ・資料各5,000部、映画(DVD)500部作成
戦後70年平和祈念事業 (平和パネル展の開催)	市民の平和意識の向上を図るため、明石の空襲に関する当時の写真や啓発マンガ、啓発資料の内容、平和首長会議提供の原爆被害に関する写真パネルを展示し、広く市民の方々に紹介する。	-	-	8月11日～20日、8月25日～31日開催
平和の語り部事業 (戦争体験に関する講演会の実施)	平和の大切さ、命の大切さを次世代に継承し、平和意識を高めるため、戦争体験者が語り部となって小中学校や地域で講演する。	5回開催	7回開催	7回開催
平和映画会の開催	平和の尊さを実感するとともに、世代を越えて平和について考え、語り合うきっかけづくりとするため、夏休みに平和映画会を開催する。	8月2日開催 2回上映 参加者1,100人	8月7日開催 2回上映 参加者850人	-

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	543	7,010	7,553	0	0	0	7,553	正規	0.80	パート	0.00
26当初予算	671	6,820	7,491	0	0	0	7,491	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	531	6,820	7,351	0	0	0	7,351	任期付	0.10	合計	0.90
27当初予算	1,865	6,820	8,685	0	0	0	8,685				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	平和の語り部謝礼	98		200	報償費	平和の語り部謝礼
旅費	出張旅費	3	10	旅費	出張旅費	10	
需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	130	1,175	需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	1,175	
委託料	映画上映委託	194	200	委託料	映画上映委託	200	
使用料及び賃借料	映画会会場使用料	106	280	使用料及び賃借料	映画会及びパネル展示会場使用料	280	
<b>合計</b>			<b>531</b>	<b>合計</b>			<b>1,865</b>

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125002000-003	事務事業名	平和啓発推進事業
------	----------------	-------	----------

<b>事業の成果</b>	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
戦後70年平和祈念事業や平和の語り部事業などを通じて、子どもや保護者に平和の大切さ、命の大切さを考える機会を提供することにより、市民の平和意識は高まっている。						

<b>事業の評価・今後の方向性</b>	<b>観点</b> （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
従来の平和映画会は終了したが、節目の年としての戦後70年平和祈念事業を実施するとともに、今年度の事業を検証し、今後の展開を検討する。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	住宅資金貸付金償還事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0125002000 - 004		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	民生費	事業所管課	コミュニティ推進部人権推進課				
	項	社会福祉費	連絡先	(078)918-5024				
	目	人権推進費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度		
	事業	住宅資金貸付金償還事務事業	根拠法令・要綱等	(旧)明石市住宅新築資金等貸付条例				
施策分野		4 生活・環境分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		4-4 人権の尊重・共生社会の推進		委託		指定管理		
個別計画								

事業の目的	対象（誰を・何を）	住宅資金貸付金の借受人
	意図（どういう状態にしたいのか）	公平、適正な償還を促進し、滞納の解消を図る。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	住宅資金等貸付金の償還	借受人等に対する文書や電話、個別訪問等による催告及び納付指導、悪質滞納者に対する法的措置	滞納者 91人 催告等 51件 法的措置 1件	滞納者 82人 催告等 69件 法的措置 0件	滞納者 79人 催告等 70件 法的措置 2件

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	1,344	9,644	10,988	6,162	0	0	4,826	正規	0.88	パート	0.00
26当初予算	3,034	9,296	12,330	508	0	0	11,822	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	675	9,296	9,971	3,798	0	0	6,173	任期付	0.80	合計	1.68
27当初予算	2,135	9,296	11,431	475	0	0	10,956				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	訪問旅費等	6		27		
需用費	消耗品費、印刷製本費	86	115				
役務費	郵便料	126	1,535				
委託料	データ保管委託	33	33				
使用料及び賃借料	パソコン使用料	411	411				
負担金補助及び交付金	研修会参加費	13	14				
合計			675	合計			2,135



## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125002000-004	事務事業名	住宅資金貸付金償還事務事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	住宅資金等貸付金の償還率	住宅資金等貸付金の償還率を指標とする。	%	95.74	96.06	96.33
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい経済、財政状況のもと、歳入の確保と、より公平、公正な市政運営を図る観点から、債権管理課や弁護士（任期付職員）との連携のもと、個々のケースごとに債務者の状況を丁寧に把握するとともに償還状況を精査し、最適な対応を図っていく。</li> <li>・徴収困難な滞納者には、個別に分納等による納付指導を行うほか、悪質な滞納者に対しては法的措置による滞納整理を行う。</li> </ul>						



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	厚生館管理運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0125002000 - 005				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>	<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部人権推進課				
	<b>款</b>	民生費			<b>連絡先</b>	(078)918-5024			
	<b>項</b>	社会福祉費				<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 46 年度
	<b>目</b>	厚生館費					<b>根拠法令・要綱等</b>	社会福祉法・隣保館設置運営要綱・明石市立厚生館条例・明石市立厚生館条例施行規則	
	<b>事業</b>	厚生館管理運営事業						<b>実施方法</b>	直営
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	4-4 人権の尊重・共生社会の推進	委託			指定管理			
<b>個別計画</b>	人権施策推進方針								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	同和問題をはじめとする人権課題の解決に向け、人権啓発、住民交流の拠点として、また地域社会全体の中で開かれたセンターとして事業を行い、福祉の向上と人権意識の高揚、住民交流の促進を図る。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	厚生館の管理運営	厚生館を管理運営するための保守点検委託や修繕等を行う。	開館日数309日 (7館平均)	開館日数307日 (7館平均)	開館日数310日 (7館平均)
	相談事業	人権、福祉、生活相談などの相談に対し、必要に応じて関係機関と連携するなど対応していく。	相談件数316件	相談件数357件	相談件数360件
	交流促進事業などの実施	福祉の向上や人権啓発の促進、住民交流の活性化のための各種事業を行い、同和問題をはじめあらゆる人権課題の解消を図る。	開催回数 4,854回	開催回数 5,074回	開催回数 5,100回

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	46,021	42,470	88,491	29,893	0	54	58,544	正規	2.10	パート	0.00
26当初予算	46,281	41,020	87,301	30,011	0	607	56,683				
26決算	44,542	41,020	85,562	29,827	0	282	55,453	再任用	7.00	その他	0.00
27当初予算	45,973	41,020	86,993	29,909	0	107	56,977	任期付	0.00	合計	9.10

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	厚生館嘱託員等報酬	26,030		報酬	厚生館嘱託員等報酬	26,395
報償費	厚生館事業等講師謝礼	3,912	報償費	厚生館事業等講師謝礼	4,246		
需用費	事業用及び施設管理用消耗品、修繕料、光熱水費等	8,866	需用費	事業用及び施設管理用消耗品、修繕料、光熱水費等	9,406		
委託料	警備、清掃委託等	1,301	委託料	警備、清掃委託等	1,545		
使用料及び賃借料	バス借上料、ケーブルTV使用料等	2,118	使用料及び賃借料	バス借上料、ケーブルTV使用料等	1,436		
その他	旅費、役務費、負担金、備品購入費	2,315	その他	旅費、役務費、負担金、備品購入費	2,945		
<b>合計</b>			44,542	<b>合計</b>			45,973

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125002000-005	事務事業名	厚生館管理運営事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	厚生館利用人数	人権啓発や福祉・住民交流の拠点である館の利用人数を福祉や人権啓発向上の度合いを計る指標とする。	人	63,110	67,544	68,000

### 指標で表せない成果

交流促進事業などを通じて、同和問題をはじめとする人権課題への正しい理解が広がり、差別意識解消など人権意識の向上が図られている。  
 人権施策の推進による事業成果は短期間に現われるものではなく、じっくりと時間をかけて現れるものであるため、概ね5年に1度実施する市民アンケートにおいて、市民の人権意識の経年変化をつかみ、施策の推進状況の効果的な点検・評価を行う。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>同和問題をはじめとする人権課題の解決に向け、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点として、相談事業、福祉事業、交流事業などに取り組むとともに、時代の変化や地域社会のニーズにあった事業展開を推進し、人権文化が根付いた、より一層地域に開かれた施設として取り組んでいく。</p> <p>平成14年3月に法が失効し、特別対策としての同和行政は終了しているものの、未だ偏見や差別は残っていることを認識し、歴史的な経緯を踏まえた上で、決して同和問題の取り組みを軽視することや、あらゆる人権課題への取り組みが低下することのないよう、人権施策推進方針改訂（平成32年度）の中で、将来的な明石市の人権教育・啓発体制や事業等の方向性ととも厚生館のあり方について明確にしていく。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	住宅資金貸付金元金償還金			新規/継続	継続事業	整理番号	0125002000 - 006			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	公債費			事業所管課		コミュニティ推進部人権推進課			
	項	公債費			連絡先		(078)918-5024			
	目	元金			自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 49 年度	
	事業	住宅資金貸付金元金償還金			根拠法令・要綱等		明石市事業公債条例			
施策分野		4 生活・環境分野			実施方法		直営	○	補助・助成	その他
個別計画		4-4 人権の尊重・共生社会の推進					委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）			
	貸付金の原資である起債			
意図（どういう状態にしたいのか）				
借入先(簡易保険局)に償還していく。				

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	長期債の償還	住宅資金貸付金に対する長期債の償還(元金相当額)	3,020千円を償還	326千円を償還	341千円を償還

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	3,020	83	3,103	0	0	22,613	-19,510	正規	0.01	パート	0.00
26当初予算	327	82	409	0	0	15,335	-14,926	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	326	82	408	0	0	19,120	-18,712	任期付	0.00	合計	0.01
27当初予算	341	82	423	0	0	14,907	-14,484				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利息及び割引料	長期債償還金元金		326		償還金利息及び割引料
合計			326	合計			341

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125002000-006	事務事業名	住宅資金貸付金元金償還金
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
引き続き償還を続ける。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		住宅資金貸付金利子		新規/継続	継続事業	整理番号	0125002000 - 007					
				分割/統合								
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容								
	款	公債費		事業所管課	コミュニティ推進部人権推進課							
	項	公債費		連絡先	(078)918-5024							
	目	利子		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度					
	事業	住宅資金貸付金利子		根拠法令 ・要綱等	明石市事業公債条例							
施策分野		4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他				
		4-4 人権の尊重・共生社会の推進			委託		指定管理					
個別計画												
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 貸付金の原資である起債											
	意図（どういう状態にしたいのか） 借入先(簡易保険局)に償還していく。											
事業 内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み					
					25年度	26年度	27年度					
	長期債の償還	住宅資金貸付金に対する長期債の償還(利子相当額)			171千円を償還	58千円を償還	44千円を償還					
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算		171	83	254	0	0	3,757	-3,503				
26当初予算		58	82	140	0	0	2,099	-1,959	正規	0.01	パート	0.00
26決算		58	82	140	0	0	3,395	-3,255	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算		44	82	126	0	0	2,095	-1,969	任期付	0.00	合計	0.01
26 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額		27 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額				
	償還金利子及び 引料	長期債利子	58			償還金利子及び 引料	長期債利子	44				
合計		58		合計		44						

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125002000-007	事務事業名	住宅資金貸付金利子
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
引き続き償還を続ける。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	計量事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0125003000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	コミュニティ推進部男女共同参画課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5634			
	目	男女共同参画・生活対策費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 28 年度	
	事業	計量事務事業	根拠法令・要綱等	計量法			
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	4-1 防災・生活安全対策の推進			委託		指定管理	
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民・事業者
	意図（どういう状態にしたいのか）	計量思想の普及啓発による市民の意識向上と、定期検査及び立入検査等により市内事業者の適正計量の実施を確保することにより、市民の消費生活の安定と向上を図る。

活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
		25年度	26年度	27年度
特定計量器定期検査の実施及び指定定期検査機関の指導・監督	適正計量の確保のため、特定計量器の使用者に対し、指定定期検査機関による定期検査を実施する。 また、適切に検査業務が実施されるよう検査機関の指導・監督を行う。	定期検査実施器数(西部区域)565個	定期検査実施器数(東部区域)968個	定期検査実施器数(西部区域)565個
立入検査の実施	不適正な計量商品の流通を防ぎ、事業者の正確計量意識を高めるため、特定商品販売事業者に対する商品量目立入検査などを実施する。	立入事業者数 15事業者	立入事業者数 19事業者	立入事業者数 15事業者
計量啓発事業の実施	計量に関する意識を高めるため、計量月間(11月)などの機会にパネル展示を行う。 また、市内の全小学校に対し、日本計量振興協会主催の計量記念日事業「なんでも測ってみようコンテスト」への参加を呼びかけるなど、計量思想の普及啓発に努める。	計量月間にパネル展示	計量月間にパネル展示	計量月間にパネル展示

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
25決算	1,188	17,789	18,977	0	0	0	18,977	正規	1.33	7/1/1	0.00				
26当初予算	1,932	13,506	15,438	0	0	0	15,438								
26決算	1,919	13,506	15,425	0	0	7	15,418					再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	1,280	12,206	13,486	0	0	0	13,486					任期付	0.50	合計	1.83

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	計量月間行事謝礼	24		24	報償費	計量月間行事謝礼
旅費	全国特定市計量行政協議会・全国計量行政会議 他	120	120	旅費	全国特定市計量行政協議会・全国計量行政会議 他	90	
需用費	消耗品費、修繕料	321	321	需用費	消耗品費、修繕料	251	
委託料	特定計量器定期検査業務(東部)	1,436	1,436	委託料	特定計量器定期検査業務(西部)	891	
負担金補助及び交付金	全国特定市計量行政協議会 団体負担金	18	18	負担金補助及び交付金	全国特定市計量行政協議会 団体負担金	18	
<b>合計</b>			1,919	<b>合計</b>			1,280



## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125003000-001	事務事業名	計量事務事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	立入検査実施店舗の適正率	商品量目立入検査を実施した店舗のうち、全ての商品において量目不足がなかった店舗数／総立入検査実施店舗数×100	%	100	100	100
	定期検査受検者の適正事業所率	特定計量器の定期検査を受検した事業所のうち、所有するすべての計量器が合格した事業所数／総検査受検事業所数×100	%	99	99	100
	<b>指標で表せない成果</b>					
啓発事業や定期検査及び立入検査等を実施したことにより、市民と市内事業者の計量思想の意識向上が図られた。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>適正な計量の実施の確保を図るために、市場監視によりチェック機能を果たしていくことが重要である。今後も、消費者取引の適正化を図るために、計量器の定期検査による不正計量器の使用の取締や、食料品販売店舗への商品量目立入検査による不適正商品の流通防止等取締機能の充実・強化に取り組む。</p> <p>また、消費者である市民に市場を監視する役割を担ってもらうことも重要であるため、計量思想の普及啓発に取り組んでいく。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	男女共同参画推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0125003000 - 002		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	総務費					
	<b>項</b>	総務管理費					
	<b>目</b>	男女共同参画・生活対策費					
	<b>事業</b>	男女共同参画推進事業					
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部男女共同参画課				
	4-4 人権の尊重・共生社会の推進		<b>連絡先</b>	(078)918-5611			
<b>個別計画</b>	あかし男女共同参画プラン	<b>自治/法定</b>		自治事務		開始年度	昭和 55 年度
			<b>根拠法令・要綱等</b>	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、あかし男女共同参画センター条例			
<b>実施方法</b>	直営	○		補助・助成		その他	
	委託		指定管理				

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民・事業者・職員
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	固定的な性別役割分担意識の解消を図り、男女がともに互いを尊重しそれぞれの能力を發揮することができる「男女共同参画社会」の実現に向け、総合的・体系的な施策の推進を図る。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	あかし男女共同参画センターの運営	男女共同参画社会の実現に向けた拠点施設として、男女共同参画に関する図書の出貸や、情報提供及び各種相談を行う。 また、会議室、保育室及び授乳室を一般市民や団体等の利用に供する。	センター会議室稼働率65.5%	センター会議室稼働率64.3%	センター会議室稼働率65%
	男女共同参画社会の形成のための意識啓発	男女ともに、あらゆる分野で個性や能力が發揮できるよう、女性のエンパワーメントや男性の家庭、地域への積極的な参加を促進する講座や情報発信など、子どもから高齢者まで性別にかかわらず幅広い世代への意識の醸成を図っていく。	18講座の実施、情報誌の発行2回、職員研修1回	14講座の実施、情報誌の発行2回、職員研修1回	9講座の実施、情報誌の発行2回、職員研修1回
	男女の人権尊重に向けた意識啓発	重大な人権侵害であるDVの根絶に向けた取り組みを推進するとともに、男女の人権尊重に向けて意識づくりを行う。 また、DVやデートDVの正しい理解や被害の未然防止等を図るため、中・高校生へのデートDV出前講座の実施や、啓発カードの配布を行う。	デートDV出前講座開催 高校4校	デートDV出前講座開催 高校5校、中学3校	デートDV出前講座開催 高校3校、中学4校
	女性のための各種相談	女性が抱える様々な悩みや問題に関する相談や就労支援に関する相談を行う。	女性のための相談室1,101件、法律相談27名、チャレンジ相談45名、健康相談38件	女性のための相談室1,138件、法律相談28名、チャレンジ相談60名、健康相談33件	女性のための相談室1,200件、法律相談30名、チャレンジ相談62名、健康相談20件
	女性団体等の支援	市内女性団体が連携し、女性の社会的地位向上、コミュニティづくりの推進や男女共同参画社会の実現を図るため、明石市女性団体協議会に男女共同参画推進事業を委託するとともに、女性団体等の活動の支援を行う。	街頭啓発活動（JR明石駅、大久保駅）2回、男女共同参画フェスタ等	街頭啓発活動（JR明石駅、大久保駅）2回、男女共同参画フェスタ等	街頭啓発活動（JR明石駅、大久保駅）2回、男女共同参画フェスタ等
	あかし男女共同参画プラン第5期実施計画の策定	あかし男女共同参画プランを計画的に推進するため、庁内連絡会議を開催し、第5期実施計画を策定する。	—	—	庁内連絡会議2回

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	4,344	43,322	47,666	0	0	3,739	43,927	正規	3.34	7/11/1	0.00
26当初予算	4,456	42,988	47,444	0	0	3,068	44,376				
26決算	4,216	42,988	47,204	0	0	3,881	43,323	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	4,573	42,988	47,561	0	0	3,400	44,161	任期付	6.00	合計	9.34

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	男女共同参画推進講座講師謝礼他	1,383		報償費	男女共同参画推進講座講師謝礼他	1,507
旅費	県内男女共同参画センター等連絡会議・女性問題相談員研修等	65	旅費	県内男女共同参画センター等連絡会議・女性問題相談員研修等	139		
需用費	消耗品費、印刷製本費、修繕料、食糧費	1,155	需用費	消耗品費、印刷製本費、修繕料、食糧費	1,168		
委託料	女性問題啓発事業委託料、センター視聴覚設備保守点検費 他	1,094	委託料	女性問題啓発事業委託料、センター視聴覚設備保守点検費 他	1,116		
使用料及び賃借料	コピー機賃貸使用料、男女共同参画推進講座会場使用料 他	386	使用料及び賃借料	コピー機賃貸使用料、男女共同参画推進講座会場使用料 他	498		
その他	一時保育傷害保険料等役務費、備品購入費、負担金 他	133	その他	一時保育傷害保険料等役務費、備品購入費、負担金 他	145		
<b>合計</b>			4,216	<b>合計</b>			4,573

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125003000-002	事務事業名	男女共同参画推進事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	審議会等の女性委員の割合	地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等の女性委員の割合(女性委員数/委員総数)	%	26.9 (H25.4.1現在)	29.5 (H26.4.1現在)	30.0 (H27.4.1現在)
	<b>指標で表せない成果</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あかし男女共同参画プランに基づく施策を推進することにより、子どもから高齢者まで幅広い世代の男女共同参画意識の醸成が図れる。</li> <li>・DV、デートDV防止に関する啓発や教育をすることにより、未然防止や拡大防止につながる。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>本市では、あかし男女共同参画プラン及びプランに基づく実施計画に沿って、男女共同参画社会の実現へ向けた取組を進めている。国の「日本再興戦略」において“女性の活躍促進”は我が国経済の再生や成長の鍵として位置付けられている。また、東日本大震災をきっかけに被災時や復興段階における女性をめぐる諸問題が表面化してきたことにより、防災や復興における男女共同参画の推進が求められている。</p> <p>こうした点を踏まえながら、今後も引き続き、関係各課との連携のもと、男女共同参画の推進に向けた取り組みを進めるとともに、防災分野を含む審議会等に参画できる人材の育成や、女性の自己実現(就業や地域活動等)に向けた支援の充実に取り組み、女性の活躍推進を図る。</p> <p>また、配偶者等からの暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であるため、明石市配偶者暴力相談支援センター等関係機関や庁内関係課とより一層連携し、DV防止やDV被害者の保護と自立に向けた支援の充実に取り組む。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	消費生活対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0125003000 - 003			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部男女共同参画課			
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5634		
	<b>目</b>	男女共同参画・生活対策費		<b>自治/法定</b>		自治+法定	<b>開始年度</b>	昭和 45 年度
	<b>事業</b>	消費生活対策事業						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	消費者安全法、消費者基本法、消費者教育推進法				
	4-1 防災・生活安全対策の推進			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
<b>個別計画</b>								
			委託		指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>			
	市民			
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>			
幼児期から高齢者までのライフステージに応じた消費者教育を体系的に推進し、消費者の自立を支援するとともに、市民からの消費生活に関する苦情等に対して助言やあっせんを行うことで、消費者被害の未然防止や救済を図り、市民の消費生活の安定と向上を確保する。				

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	各種消費生活講座・啓発イベントの実施	消費者としての自立を支援するために、市民に対し、消費者月間記念講演会や「あかし消費者大学」などの各種啓発事業を実施する。	消費者大学他受講者 計148人	消費者大学他受講者 計144人	消費者大学他受講者 計約200人
	消費者団体・市民グループの育成	消費者団体や市民により構成された消費生活啓発員に対し、活動支援や助成等を実施する。	活動助成(1団体)事業委託(2団体)啓発員定例会 月1回開催	活動助成(1団体)事業委託(2団体)啓発員定例会 月1回開催	活動助成(1団体)事業委託(2団体)啓発員定例会 月1回開催
	高齢者向け消費者教育	高齢者の消費者被害を未然に防止するために、消費生活啓発員や消費生活相談員などによる出前講座を実施する。	出前講座実施: 20回	出前講座実施: 16回	出前講座実施: 15回
	若年層向け消費者教育	若年期から消費者としての自覚を育み、消費者被害の未然防止につながる知識を身に付けるための教育として、小中学校等の児童・生徒等に対し、金銭教育やインターネット・携帯電話を安全に使うための講座を実施する。	金銭教育:4校 計18回 ネット:18校 計20回	金銭教育:3校 計3回 ネット:18校 計21回	金銭教育:2校 計7回 ネット:21校 計24回
	消費生活相談等の実施	市民からの消費生活に関する苦情や相談等に対し、情報提供、助言、あっせんを行う。	消費生活相談 1,826件	消費生活相談 1,971件	消費生活相談 約2,000件

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	10,568	20,389	30,957	4,433	0	0	26,524				
26当初予算	9,886	24,306	34,192	620	0	0	33,572	正規	2.33	ｱｶｼ	0.00
26決算	9,240	24,306	33,546	3,443	0	0	30,103	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	10,024	25,606	35,630	3,846	0	0	31,784	任期付	2.50	合計	4.83

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	消費生活相談員報酬	6,331		報酬	消費生活相談員報酬	6,586
報償費	あかし消費者大学講師謝礼 他	905	報償費	あかし消費者大学講師謝礼 他	1,383		
旅費	近畿ブロック消費生活センター連絡会議 他	423	旅費	近畿ブロック消費生活センター連絡会議 他	433		
需用費	消耗品費	687	需用費	消耗品費	706		
委託料	消費生活啓発事業委託料	220	委託料	消費生活啓発事業委託料	220		
その他	電信電話料等役務費、使用料及び賃借料、負担金、補助金	674	その他	電信電話料等役務費、使用料及び賃借料、負担金、補助金	696		
<b>合計</b>			9,240	<b>合計</b>			10,024

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125003000-003	事務事業名	消費生活対策事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	各種消費生活講座及び出前講座等受講者数	消費者として必要な知識を身に付け、自立した消費者を育成できた指標と考えられるため。	人	11,350	10,165	12,000
	消費生活相談件数	市民の消費者被害の未然防止や救済が図られる。	件	1,826	1,971	1,900
<b>指標で表せない成果</b>						
消費者教育や啓発事業の実施後は、参加者に消費生活にかかわる知識が浸透し、消費者としての自立や消費者トラブルの未然防止が図られた。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<p>平成16年度にピークを迎えた消費生活相談件数は、近年減少傾向を見せていたが、一昨年度に再び増加に転じており、その中でも65歳以上が契約当事者である相談の増加が顕著であるなど、高齢者の消費者被害防止対策が重要な課題となっている。平成21年に消費者庁が発足して以来、消費者関連の法整備が進み、平成24年12月には消費者教育推進法の施行、平成26年6月には消費者安全法の改正があるなど、消費者行政を取り巻く環境は急速に変化を遂げている。</p> <p>今後は、これらの法に基づき、消費者教育の推進、消費生活センター設置条例の制定、高齢者等を見守る仕組みの構築などに取り組んでいく。</p> <p>また、複雑多様化する消費者被害に対応できるよう、消費生活相談員のより一層のレベルアップを図る。</p> <p>消費者教育が、単に消費者トラブルを回避する能力を高めるために行われるものではなく、消費者が自らの意思決定や消費行動がもたらす影響と社会的役割を自覚し、持続可能な社会の形成に積極的に参画することの重要性を理解するために行われることが求められるようになった。さらに、</p> <p>これらの法律では、消費者教育推進計画の策定、消費生活センターの組織及び運営等に関する事項の条例制定、消費者安全確保地域協議会の設置などが求められるなど、地方公共団体にはこれまで以上に消費者安全確保のための取り組みが求められている。今後、各</p>					



# 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	コミュニティ活動推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0125100000 - 001			
		分割/統合						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費						
	<b>項</b>	総務管理費						
	<b>目</b>	コミュニティ費						
	<b>事業</b>	コミュニティ活動推進事業						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>根拠法令・要綱等</b>	地方自治法、明石市における自治会等に関する規則、明石市連合自治協議会会則、明石市自主防災組織助成要綱					
	4-5 コミュニティづくりの推進							
<b>個別計画</b>	「協働のまちづくり」推進に向けて	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
			委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	地域住民、地域自治組織（自治会、町内会、コミュニティ推進組織及びこれらの連合体）
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	・ 地域住民の地域自治組織への積極的な参加を促し、地域自治組織によるコミュニティ活動の活性化を図る。 ・ 地域自治組織を通じ行政情報の提供や行政サービスの向上を図る。

	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
<b>事業内容</b>	①自治会等事務委託	市と自治会との情報共有を図り、きめ細やかな行政サービスを提供するため、各単位自治会に対し、(1)市の発行する広報文書の配布(20回/年)、(2)街路灯の管理に係る協力、(3)地域防災計画に係る災害情報の連絡等に関する協力を委託する。	475自治会 回覧枚数 10, 883部	477自治会 回覧枚数 10, 878部	477自治会 回覧枚数 10, 717部
	②明石市連合自治協議会運営支援	市内の各校区連合組織の交流、同組織と明石市との協働を図るため、市連合自治協議会の運営を支援する。 (1)理事会の開催(2)役員会の開催	(1)理事会 5回 (2)役員会11回	(1)理事会 5回 (2)役員会11回	(1)理事会 5回 (2)役員会12回
	③自主防災組織活動支援補助	「明石市災害に強いまちづくり計画」に基づき自主的な防災組織の設立を促進し、地域の防災力の向上を図るため、補助金を支給する。	組織数 34団体、416 自治会加入	組織数 35団体、408 自治会加入	組織数 28団体、441 自治会加入
	④自治会・町内会加入促進	自治会・町内会への加入促進のため、未加入者へのチラシの配布やマニュアルを利用した自治会加入促進活動を行う。	自治会・町内会 加入促進マニュアル作成	自治会・町内会 加入促進チラシ・ポスター作成	自治会・町内会 加入促進チラシ・ポスター配布
	⑤各種研修会の開催	自治会・町内会新会長及び自治会役員を対象とした研修会を開催する。	新会長149 名、リーダー研修会約200名	新会長129 名、リーダー研修会約200名	新会長138 名、リーダー研修会約200名
	⑥明石コミュニティ創造協会運営補助	住民相互の連携に支えられた、住みがいのある地域コミュニティを創造する活動を促進し、人々の生活、福祉、文化の向上に寄与することを目的に事業を行う一般財団法人明石コミュニティ創造協会の運営を支援するため、補助金を交付する。	団体の活動支援、情報収集・発信、相談等	団体の活動支援、情報収集・発信、相談等	団体の活動支援、情報収集・発信、相談等

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	80,781	69,840	150,621	0	0	50	150,571				
26当初予算	79,706	64,980	144,686	0	0	50	144,636	正規	7.60	アルバイト	0.00
26決算	75,803	64,980	140,783	0	0	50	140,733	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	79,379	68,820	148,199	0	0	60	148,139	任期付	2.50	合計	10.10

	区分（節）	内容	金額		区分（節）	内容	金額
	<b>26年度決算事業費明細</b>	旅費	近接地旅費等		83	<b>27年度当初予算事業費明細</b>	旅費
需用費		消耗品等	887	需用費	消耗品等		988
委託料		自治会等事務委託等	61,250	委託料	自治会等事務委託等		62,940
使用料及び賃借料		コピー使用料、会場使用料	521	使用料及び賃借料	コピー使用料、会場使用料		625
負担金補助及び交付金		明石コミュニティ創造協会運営補助、自主防災組織活動支援補助	12,995	負担金補助及び交付金	明石コミュニティ創造協会運営補助、自主防災組織活動支援補助		14,506
報償費		講師謝礼	67	その他	講師謝礼、備品購入費		200
<b>合計</b>			75,803	<b>合計</b>			79,379

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125100000-001	事務事業名	コミュニティ活動推進事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度
事業の成果	自治会加入率	・地域自治組織への参加状況を把握 ・行政情報やサービスの浸透度合いを推定	%	78.5	78	76.2
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
	<p>・地域自治組織によるコミュニティ活動に対しては、引き続きこれまでと同様の支援を行う。</p> <p>自治会加入率が伸び悩んでおり、効果的な解決策がなかなか見つからない状況ではあるが、引き続き明石市連合自治協議会と市が協力し、加入促進マニュアル等を利用しながら、引き続き未加入者や未結成エリアへの働きかけなどに取り組む。</p> <p>・コミュニティ創造協会については、平成24年度以降、同協会職員がモデル校区などのまちづくり組織の会合に参加し、その専門性を活かし積極的に研修や適切なアドバイスを行ってきた結果、校区の合意形成ができる組織づくりが着実に進んでいる。</p> <p>また、平成25年度からは市民活動コーナーの運営も担い、テーマ型の市民活動団体に対しこれまで以上に丁寧なフォローを行っており、今後、市民活動の活性化に期待が持たれるところである。</p> <p>このように、小学校区ごとの協働のまちづくり推進にあたり、同協会は中間支援組織として必要不可欠な存在であり、引き続き同協会の組織運営や事業展開に対する必要な支援を行う。</p>					



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	自治会集会施設等整備補助事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0125100000 - 002				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部市民協働推進室				
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5004			
	<b>目</b>	コミュニティ費				<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 45 年度
	<b>事業</b>	コミュニティ活動推進事業							
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市集会施設整備補助金交付要綱、明石市自治会放送設備整備補助金交付要綱、明石市集会施設用地取得補助金交付要綱、明石市自治会等掲示板設置等補助金交付要綱					
	4-5 コミュニティづくりの推進			<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	○	その他	
<b>個別計画</b>	「協働のまちづくり」推進に向けて		委託		指定管理				

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	自治会・町内会等
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	集会施設や放送設備、掲示板等の整備を進め、自治会・町内会活動の活性化を図る。

活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
		25年度	26年度	27年度
①集会施設整備補助	地域住民のコミュニティ活動活性化を図るため、自治会等が行う集会施設の増改築等に要する経費の一部を補助する。補助額は、集会施設の増改築等に要する経費の2分の1以内で、新築・購入については800万円、増改築・改造については400万円を限度とする。	補助件数 13件	補助件数 6件	補助件数 8件
②放送設備整備補助	地域住民への広報活動を充実し、コミュニティ活動を円滑に進めるため、自治会・町内会が設置する放送設備に要する経費の一部を補助する。補助額は、放送設備の新設等に要する経費の2分の1以内で、新設については80万円、修理については40万円を限度とする。	補助件数 2件	補助件数 2件	補助件数 1件
③集会施設用地取得補助	地域住民のコミュニティ活動活性化を図るため、自治会等が集会施設の用地取得に要する経費の一部を補助する。補助額は、用地取得に要する経費の2分の1以内で、2,000万円を限度とする。	補助件数 3件	補助件数 1件	補助件数 0件
④自治会掲示板設置等補助	地域住民が行政情報や地域情報を入手し、共有できるよう、自治会・町内会に対し、掲示板の設置や改修に要する経費の一部を補助する。補助額は、整備に要する経費の2分の1以内で、20万円を限度とする。	補助件数 14自治会 22件	補助件数 16自治会 21件	補助件数 10自治会 18件
⑤コミュニティ助成事業	地域住民によるコミュニティ活動の促進を図るため、コミュニティ活動に必要な備品や施設の整備に対し助成を行う。財源は(財)自治総合センターのコミュニティ助成金を充てる。	補助件数 1件	補助件数 1件	補助件数 0件

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	41,821	10,480	52,301	0	0	2,500	49,801	正規	1.00	アルバイト	0.00
26当初予算	33,838	8,720	42,558	0	0	10,000	32,558	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	33,147	8,720	41,867	0	0	10,000	31,867	任期付	0.00	合計	1.00
27当初予算	39,286	8,200	47,486	0	0	0	47,486				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	集会施設整備補助等		33,147		負担金補助及び交付金
	<b>合計</b>		33,147		<b>合計</b>		39,286

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125100000-002	事務事業名	自治会集会施設等整備補助事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
集会施設や放送設備、掲示板の整備をすることにより、地域住民のコミュニティ活動を活性化させている。						

事業の評価・今後の方向性	<b>観点</b> （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
財政健全化の取り組みとして、以下の方向で見直す。(平成29年度から実施) ・補助割合を現行の5割から3割程度に引き下げる。 ・集会施設用地の補助額の上限を2,000万円から1,000万円に引き下げる。						

# 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	協働のまちづくり推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0125100000 - 003			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部市民協働推進室			
	<b>項</b>	総務管理費		<b>連絡先</b>	(078)918-5004			
	<b>目</b>	コミュニティ費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 18 年度	
	<b>事業</b>	協働のまちづくり推進事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	協働のまちづくり提言 明石市住みよい地域づくり補助金交付要綱			
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
	4-5 コミュニティづくりの推進		委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	「協働のまちづくり」推進に向けて							

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	地域住民及び市職員
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市民が主役となり、市民と市、市民同士が適切な役割分担のもとで連携し推進する、小学校区単位での「協働のまちづくり」の仕組みを構築する。
	<b>目的</b>	市民が主役となり、市民と市、市民同士が適切な役割分担のもとで連携し推進する、小学校区単位での「協働のまちづくり」の仕組みを構築する。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に對し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	①(仮称)協働のまちづくり推進条例制定に向けた取り組み	市民と市、市民同士による協働のあり方やその推進方法、仕組み等を定める「(仮称)明石市協働のまちづくり推進条例」を制定するため、外部委員による検討委員会の意見等を踏まえ検討を進める。	モデル校区における実践状況報告会を開催1回、庁内検討会議開催2	検討委員会開催3回	検討委員会開催2回、最終提言書の受領、条例案の策定等
	②協働のまちづくり推進事業支援業務委託	まちづくりのサポート機関である明石コミュニティ創造協会に対し、中間支援組織としての専門性を生かした校区まちづくり組織等に対する支援業務を委託する。	校区まちづくり組織の設立支援、モデル校区への支援等	モデル校区への支援、地域事務局の構築支援等	まちづくり計画書の策定支援、地域事務局の構築支援等
	③住みよい地域づくり補助金	小学校区単位の各種団体が構成されたまちづくり組織に対して、組織の強化及びまちづくり事業の実施の支援を目的として補助を実施する。	15小学校区	23小学校区	25小学校区
	④地域事務局支援事業の実施	校区まちづくり組織が事務局体制を強化し、より一層地域の実情に合わせ、主体的な立場で活動できるよう、希望する校区に、コミセン所長の配置にかえて事務局員雇用等を行うための補助金を交付する。	—	4小学校区(花園、和坂、江井島、魚住)で実施	7小学校区(花園、和坂、江井島、魚住、中崎、鳥羽、錦が丘)で実施予定
	⑤安全安心の地域活動補助事業の実施	学校を中心とした地域の安全性を高めるため、教育委員会が実施する学校の安全対策モデル事業の実施校区を対象に、地域自らが主体的に実践していく取り組みに対して補助金を交付する。	—	4小学校区(朝霧、花園、鳥羽、江井島)で実施	7小学校区(朝霧、花園、鳥羽、江井島、松が丘、谷八木、魚住)で実施予定
	⑥まちづくり計画書策定補助事業の実施	平成24年度から平成26年度にかけて実施してきた協働のまちづくりの仕組み構築に係るモデル事業の展開として、モデル校区以外の25小学校区で組織強化の取り組みを進めながら、各校区のビジョンや方策を定めた「まちづくり計画書」を策定する取り組みに対して補助金を交付する。	—	—	7小学校区(中崎、和坂、鳥羽、花園、錦が丘、清水、山手)で実施予定

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	29,396	35,690	65,086	175	0	0	64,911				
26当初予算	55,518	31,980	87,498	175	0	0	87,323	正規	4.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26決算	44,312	31,980	76,292	175	0	0	76,117	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	59,675	34,100	93,775	175	0	0	93,600	任期付	0.50	合計	4.50

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	協働のまちづくり推進条例検討委員報償費		394		報償費
	委託料	協働のまちづくり推進事業支援業務委託等	24,358		委託料	協働のまちづくり推進事業支援業務委託等	25,236
	負担金補助及び交付金	住みよい地域づくり補助金、地域事務局支援事業補助金等	19,456		負担金補助及び交付金	住みよい地域づくり補助金、地域事務局支援事業補助金等	33,700
	その他	消耗品費、役員費、使用料及び賃借料等	104		その他	旅費、消耗品費、使用料及び賃借料等	187
	<b>合計</b>		<b>44,312</b>		<b>合計</b>		<b>59,675</b>

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125100000-003	事務事業名	協働のまちづくり推進事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果						
<b>指標で表せない成果</b>						
モデル事業の実施や事務局体制構築の支援、まちづくり計画書策定の取り組み等により、校区まちづくり組織の、組織力強化が進んでいる。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
協働のまちづくりの仕組み構築にかかるモデル事業（事業期間：平成24年度～平成26年度）の成果を検討中の「（仮称）明石市協働のまちづくり推進条例」に反映させ、平成27年度中の制定を目指す。 より地域主体のまちづくりを進めていくため、校区まちづくり組織の組織強化を図り、各校区のビジョン等を定めたまちづくり計画書を策定する「まちづくり計画書策定補助事業」を実施するとともに、校区まちづくり組織の事務局機能の強化を図る「地域事務局支援事業」を継続する。 学校を中心とした地域の安全性を高めるための取り組みとして、教育委員会が実施する学校の安全対策モデル事業の実施校区を対象に、安全安心の地域活動補助事業を継続する。 各校区において、具体的に地域組織づくりや合意形成の手順を確立していくためには、専門知識を持った中間支援組織が地域に密着して支援していくことが必要であり、引き続きコミュニティ創造協会に校区まちづくり組織の支援業務を委託し、各校区における協働のまちづくり組織の充実を図る。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	市民活動促進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0125100000 - 004				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部市民協働推進室				
	<b>項</b>	総務管理費		<b>連絡先</b>	(078)918-5004				
	<b>目</b>	コミュニティ費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 62 年度		
	<b>事業</b>	市民活動促進事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市市民活動サポート事業要綱 明石市コミュニティ活動災害補償保険取扱要綱				
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
	4-5 コミュニティづくりの推進			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	「協働のまちづくり」推進に向けて								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民活動を行う市民・団体
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市民活動に取り組むグループや団体が活動しやすい環境をつくり、まちづくり活動の活性化を図る。 また、これら団体同士や行政との協働を推進し、多様な担い手による、多様な市民ニーズに対応した公益的事業の拡大を図る。

<b>事業内容</b>	<b>活動名</b>	<b>活動内容</b> (〇〇するために、□□に対し、△△する)	<b>活動実績</b>		<b>活動見込み</b>
			25年度	26年度	27年度
事業内容	①あかし市民活動コーナー運営管理等業務委託	市民活動のPR、団体同士の協働の機会の創出等を進めるため、あかし市民活動コーナーの受付等運營業務などを中間支援組織である一般財団法人明石コミュニティ創造協会に委託する。	あかし市民活動コーナーの受付等運營業務、各種相談業務	あかし市民活動コーナーの受付等運營業務、各種相談業務	あかし市民活動コーナーの受付等運營業務、各種相談業務
	②市民活動サポート事業	市民活動の活性化を図るため、市民活動団体が提案し自ら実施する公益的事業に対し、その経費の一部を助成する。市民活動への参加拡大を図るベーシックコースと、協働により活動の幅や効果の拡大を図るステップアップコースを設定。	申請31団体 採択28団体(うち、1件辞退)	申請31団体 採択26団体	申請35団体 採択29団体
	③コミュニティ活動災害補償保険の加入	コミュニティ活動の健全な発展を図り、市民との協働のまちづくりを推進するため、各種団体が行う公益活動に対し、損害を補償するようコミュニティ災害補償保険に加入する。	件数 7件	件数 9件	件数 10件程度

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	6,342	12,970	19,312	0	0	0	19,312				
26当初予算	8,265	13,640	21,905	0	0	0	21,905	正規	1.10	アルバイト	0.00
26決算	6,162	13,640	19,802	0	0	0	19,802	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	7,750	9,020	16,770	0	0	0	16,770	任期付	0.00	合計	1.10

<b>26年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>27年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	報償費	市民活動サポート事業審査員謝礼	39		27	報償費	市民活動サポート事業審査員謝礼、交流会講師謝礼等
役務費	コミュニティ活動災害補償保険料等	1,325	27	役務費	コミュニティ活動災害補償保険料等	2,566	
委託料	市民活動コーナー運営管理等委託	1,904	27	委託料	市民活動コーナー運営管理等委託	1,914	
負担金補助及び交付金	市民活動サポート事業等	2,845	27	負担金補助及び交付金	市民活動サポート事業等	3,028	
その他	審査員食糧費、会場使用料等	49	27	その他	審査員食糧費、会場使用料、旅費等	124	
	<b>合計</b>		6,162		<b>合計</b>		7,750

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125100000-004	事務事業名	市民活動促進事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	市民活動コーナーの登録団体数	活動情報の発信や団体間の連絡支援等を行うコーナーへの登録団体数	団体	80	92	98
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
	<p>・市民主体のまちづくりを推進していくためには、「市民活動」の活性化と、市民と行政との「協働」による取り組みが不可欠である。市民活動の活性化を図るため、引き続き団体の育成や活動の支援を行うとともに、多様な市民ニーズに対応した公益事業の拡大を図るため、市民活動団体と市との協働事業のしくみづくりを検討する。</p> <p>また、協働意識をさらに高めるため、職員研修や市民講座を定期的実施する。</p> <p>・幅広い分野で活動する市民活動団体への活動支援や相互連携を図るため、市民活動団体の活動拠点となる施設の整備が求められている。今後は、あかし市民活動コーナーにおける実践を踏まえながら、市民活動の拠点に必要な機能やセンターの開設場所等について検討する。</p>					



## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		コミセン管理運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0125100000 - 005					
				分割/統合								
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容								
	款	総務費		事業所管課	コミュニティ推進部市民協働推進室							
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5004							
	目	コミュニティ費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度					
	事業	コミセン管理運営事業		根拠法令・要綱等	明石市立コミュニティ・センター条例							
施策分野		4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他			
		4-5 コミュニティづくりの推進			委託	○	指定管理					
個別計画		「協働のまちづくり」推進に向けて										
事業の目的	対象（誰を・何を）											
	28小学校区コミセン											
事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）											
	小学校区単位の協働のまちづくりの拠点施設として、活発に住民活動が行われるよう管理運営を行う。											
事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み					
					25年度	26年度	27年度					
	①施設運営・維持管理	地域の住民や各種団体がまちづくり活動できるよう、小学校区コミセンに職員を配置し、会議室、体育館など施設の使用許可、利用日程調整、コピー機等設備の利用サービスを行う。また、利用者がコミセン施設を快適な状態で利用できるよう、設備の保守点検や機械警備委託等を行う。			標準開館日数 300日 所長会 12回	標準開館日数 299日 所長会 12回	標準開館日数 300日 所長会 12回					
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算		24,641	91,570	116,211	0	0	5,286	110,925				
26当初予算		25,144	80,760	105,904	0	0	4,975	100,929	正規	0.70	アルバイト	0.00
26決算		22,944	80,760	103,704	0	0	4,993	98,711	再任用	18.00	その他	101.00
27当初予算		27,852	158,880	186,732	0	0	5,015	181,717	任期付	0.40	合計	120.10
26年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額			
	旅費	コミセン所長・職員近接地旅費		334		旅費	コミセン所長・職員近接地旅費		360			
	需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等		8,729		需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等		10,054			
	役務費	コミセン電話料金等		3,211		役務費	コミセン電話料金等		3,472			
	委託料	コミセン運営業務委託(28コミセン)等		6,033		委託料	コミセン運営業務委託(28コミセン)等		8,056			
	使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等		4,553		使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等		5,775			
	報償費	研修講師謝礼		84		その他	研修講師謝礼、負担金補助及び交付金		135			
合計				22,944	合計				27,852			



## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125100000-005	事務事業名	コミセン管理運営事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	施設利用件数、人数	1年間の使用許可数、利用者数の合計値 (28コミセン)	件、人	30,899 619,020	29,212 576,851	30,000 600,000
	まちづくり会議数	1年間にコミセンで開催されたまちづくり 関係の会議数(28コミセン)	件	3,328	3,528	3,600
<b>指標で表せない成果</b>						
小学校区単位での地域コミュニティの醸成につながっており、住民主体の協働のまちづくりを進めるために欠かせない施設となっている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<p>現在、小学校区コミセンは、地域のまちづくりの拠点となっており、また、コミセン所長及び職員が地域活動を支援するという役割を担っている。</p> <p>また、より地域の事情に応じた住民主体のまちづくり活動ができるよう、平成26年度に和坂、花園、江井島、魚住の4校区、平成27年度に中崎、鳥羽、錦が丘の3校区において、地域事務局支援事業を実施しており、今後コミセンの職員体制も見直していく。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	コミセン施設整備事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0125100000 - 006	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	<b>款</b>	総務費				
	<b>項</b>	総務管理費				
	<b>目</b>	コミュニティ費				
	<b>事業</b>	コミセン施設整備事業				
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>事業所管課</b>	コミュニティ推進部市民協働推進室			
	4-5 コミュニティづくりの推進		<b>連絡先</b>	(078)918-5004		
<b>個別計画</b>	「協働のまちづくり」推進に向けて	<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 47 年度
		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立コミュニティ・センター条例			
<b>実施方法</b>		直営	○	補助・助成		その他
		委託	○	指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	28小学校区コミセン
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	小学校区単位の協働のまちづくりの拠点施設として、利用者にとって安全で快適な施設の整備を行う。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	①新築、改修	老朽化対応及び安全性向上のため、既存施設の建て替えや改修を行う。	小コミ 改修 3箇所	小コミ 改修 2箇所 新築 1箇所 (H26-27)	小コミ 新築 1箇所 (H26-27)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	3,669	7,420	11,089	0	0	0	11,089	正規	0.80	アルバイト	0.00
26当初予算	101,499	6,520	108,019	3,106	95,700	0	9,213	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	80,770	6,520	87,290	3,606	66,000	0	17,684	任期付	0.30	合計	1.10
27当初予算	25,725	7,340	33,065	0	19,900	0	13,165				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	修繕料	542		需用費	修繕料	1,000
役務費	コミセン改修工事に伴う事務室の引越し費用等	592	役務費	コミセン改修工事に伴う事務室の引越し費用	325		
工事請負費	人丸小コミセン新築工事、藤江小コミセン耐震補強ほか工事、山手小コミセン外壁ほか工事	77,145	工事請負費	人丸小コミセン新築工事	19,907		
備品購入費	コミセン備品	2,491	備品購入費	コミセン備品	2,500		
			負担金補助及び交付金	林コミセン改修工事	1,993		
	<b>合計</b>	<b>80,770</b>		<b>合計</b>	<b>25,725</b>		

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125100000-006	事務事業名	コミセン施設整備事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					
継続的な取り組みにより、安全面の向上が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区単位での協働のまちづくり推進のため、安全で快適な拠点施設の整備は必要不可欠である。</li> <li>・厳しい財政状況のもと、学校施設を有効に活用しながら、全体の中期的施設整備計画に基づき、必要な整備を行う。</li> </ul>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	総合型地域スポーツクラブ推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0125100000 - 007				
		分割/統合							
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	コミュニティ推進部市民協働推進室					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5004					
	目	コミュニティ費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 13 年度			
	事業	総合型地域スポーツクラブ推進事業	根拠法令・要綱等						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>実施方法</b>	直営		補助・助成		その他	
	4-5 コミュニティづくりの推進			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	「協働のまちづくり」推進に向けて								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市内28校区のスポーツクラブ21
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	地域住民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じた地域コミュニティづくりが進むよう、各スポーツクラブ21の自立的・継続的な運営やクラブ間の交流を支援する。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			25年度	26年度	27年度
	①スポーツクラブ21交流スポーツ大会支援等開催委託	スポーツクラブ相互の交流と情報交換を図るため、明石市スポーツクラブ21連絡協議会に対して、クラブ間交流を進める交流行事等を開催することを委託する。	実施イベント件数 5件	実施イベント件数 5件	実施イベント件数6件

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	4,905	7,420	12,325	0	0	0	12,325	正規	0.80	アルバイト	0.00
26当初予算	810	6,520	7,330	0	0	0	7,330	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	805	6,520	7,325	0	0	0	7,325	任期付	0.30	合計	1.10
27当初予算	810	7,340	8,150	0	0	0	8,150				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		旅費	各種会議出席者旅費		5		旅費
	委託料	スポーツクラブ21交流スポーツ大会支援等開催委託	800		委託料	スポーツクラブ21交流スポーツ大会支援等開催委託	800
	<b>合計</b>		805		<b>合計</b>		810

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0125100000-007	事務事業名	総合型地域スポーツクラブ推進事業
------	----------------	-------	------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	スポーツクラブ21 会員数	各スポーツクラブ会員数の合計人数	人	7,610	7,558	7,600
	<b>指標で表せない成果</b>					
全28校区でスポーツクラブ21が運営され、スポーツだけでなく文化活動も行われている。 自治会や子ども会など地域の各種団体とも連携して、地域行事を開催するなど、地域交流が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・28校区のスポーツクラブの連合組織である明石市スポーツクラブ連絡協議会を通じ、各校区クラブ間の交流、情報共有を進め、各校区において持続可能なクラブ運営を支援する。						